

## 神奈川スケートリンクの再整備について

### 1 再整備の必要性

神奈川スケートリンクの建物は、現在地への移築後64年以上が経過しているため、施設の老朽化が著しく進んでいます。そのため、市民の皆様が安全かつ快適に利用できる環境を確保するため、再整備が必要です。

なお、再整備にあたっては、国際規格を満たすスケートリンクを建設する予定です。

### 2 再整備の手法

神奈川スケートリンクの現運営団体である（財）神奈川体育館と（公財）横浜市体育協会が統合後、（公財）横浜市体育協会が、スケートリンクの再整備及び運営を行う予定です。

両団体は、統合することにより、本市におけるウィンタースポーツを含めたスポーツ振興をより一体的かつ効果的に推進することを目的として、各々の3月の理事会で統合する方向性を確認しており、6月の理事会で最終決定される予定です。

なお、スケートリンクについては、現敷地で建替える方向で調整を進めています。

### 3 統合までのスケジュール

（財）神奈川体育館	県への手続き	（公財）横浜市体育協会	県への手続き
3/22 理事会 【統合の方向性説明】			
		3/25 理事会 【統合の方向性説明】	
4/19 理事会 【今後のスケジュール及び手続きの説明】	4月～ 定款変更及び 残余財産の処分 について 事前協議・仮申請		4月～ 事業内容(公益目 的の事業及び収益 目的の事業)の変 更について 事前協議・仮申請
5/31理事会 【定款変更及び残余財産処分の決議】			
	本申請 県の承認	6/11 理事会 【事業内容の変更及び補正予算の決議】	本申請
6/21 理事会 【県の承認報告、清算体制の決議】			県認定審査会
7/1 統合予定			

### 4 再整備に対する本市の支援の考え方

市有地の貸与の継続など、支援内容については、平成25年度予算「大規模スポーツ施設等調査費」の中で調査検討します。

#### 【参考】神奈川スケートリンクの概要

所在地	横浜市神奈川区広台太田町1-1
開設	昭和26（1951）年 ※建物は昭和24（1949）年に現在地に移築
運営団体	（財）神奈川体育館（理事長 山崎善也 職員 13名）
年間利用者数	約16万人（一般滑走者、教室利用者）他に、貸切利用は約5～6万人
運営時間	ほぼ24時間（10時～18時：一般利用、18時～翌10時：貸切利用）
敷地面積	4,243㎡（うち、市有地3,693㎡、財団所有地550㎡）
施設面積	3,887㎡